

阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル ～2023年開業！世界と地域にひらかれた空港へ～

令和5年度くまもと県民カレッジ
主催講座(前期) 創造的復興コース

6月20日(火) 10:00～11:40
パレア9F 会議室1

熊本地震から7年 復興の歩み～希望と期待をのせた復興のシンボル～



阿蘇くまもと空港の創造的復興とは！

※創造的復興(ビルドバックベター)
Build Back Better Than Before

災害発生後の復興段階において、次の災害に備えて、より強靱な地域づくりを行うという考え方で「より良い復興」とも呼ばれる。最初は、1995年阪神・淡路大震災に際して兵庫県が提唱した概念で、その後、東日本大震災や熊本地震でも提唱されている



熱心に話を聴く
受講生の皆さん

1. 阿蘇くまもと空港の創造的復興

i) 熊本地震(2016年4月)からの復旧・復興に向けて(方向性)

- ①九州の広域防災拠点機能の強化⇒十分な耐震性能を持つ強固な建物に
- ②長期的・広域的な熊本都市圏東部地域の発展⇒阿蘇くまもと空港を復興のシンボルに
- ③九州中央に位置する国際空港の整備⇒国内線・国際線を一体化したターミナルビルに

ii) コンセプション方式の導入

国が土地等の所有権を留保しつつ(特別目的会社として設立される)民営事業者に運営権を設定し航空系事業(滑走路・駐機場等)と非航空系事業(空港ビル・駐車場等)を一体経営【民間委託】することで、航空ネットワークの充実・内外の交流人口拡大等による地域活性化を図る。管制は引き続き国が運営。

iii) 新旅客ターミナルビルの開業(2023年3月23日)

「熊本に行きたい!」「また熊本に来よう!」と思われる空港へ。誰でもショッピングや食事が楽しめる「商業ゾーン」(2024年秋開業)を前倒しで順次開業予定。

iv) ①空港概要・②地理的特徴・③航空ネットワークなど; ①滑走路は3000mあり大型機の離着陸可能。②九州の中心に位置し各県(県庁所在地)までの距離が約100kmで好アクセス。③国内既存路線8(羽田、成田、中部、小牧、伊丹など)、国際既存路線3(ソウル(仁川)運行、高雄/香港運休中)ほか、熊本⇄台北線が9月就航予定。

v) 空港機能の更なる強化; ①国際航空貨物 ⇨ 台湾への「国際航空貨物実証輸送」実施、国際航空貨物の恒常的輸送の実現に向けて(航空/運送関係機関等と連携)体制構築を推進。②空港アクセス ⇨ 増加が見込まれる空港利用者の円滑な移動確保のために、『定時性』『速達性』『大量輸送性』に優れた鉄道(ルート)の整備(JR肥後大津駅⇄空港間鉄道ルート…2034年度開業目標で熊本駅⇄空港が約40分で結ばれる)

2. 熊本県の大空港構想について(※主な成果など詳細については県ホームページを参照ください)

大空港構想とは ⇨ i)九州中央に位置する阿蘇くまもと空港とその周辺地域を「大空港」と捉え、地域の可能性を掘り起こし、その最大化を図ろうとする構想。2012年(蒲島県政2期目)から構想実現に向けて新規航空路線の誘致による交流人口の拡大・広域防災拠点化等の施策展開。ii)2016年(蒲島県政3期目発足時)に熊本地震が発生、甚大な被害を受けた空港周辺地域の創造的復興推進のため『大空港構想Next Stage』を策定。【全体の将来像 ⇨ ①阿蘇くまもと空港を熊本地震からの「創造的復興のシンボル」として空港周辺地域のポテンシャルを最大限に活かした創造的復興を実現、②熊本県経済を力強くけん引する地域となる取り組みを進めるとともに誰もが安心して便利に暮らせる地域の実現等】あらゆる施策を展開。

取材を終えて; 今回の講演では阿蘇くまもと空港の創造的復興及び熊本県の大空港構想について詳しくお話を聴くことができました。また、(私が)実際に阿蘇くまもと空港の新旅客ターミナルビルを訪れ、見聞記として以下に纏めてみましたので皆さんごいっしょにお楽しみ下さい。(くまもと県民カレッジ広報ボランティア H. K作成)

～阿蘇くまもと空港新旅客ターミナルビル見聞記～

(2023年6月16日)

【新旅客ビル正面玄関】

新旅客ビル左端上部に白地で阿蘇くまもと空港の大きな文字が映える!玄関先に張り出した長い軒部分の木材が目優しい!!



リムジンバス/タクシー降車/乗車場/バス停

【新旅客ビル国内・国際線1Fロビー】

1Fロビーは正面に航空会社のカウンターが並び、右奥は到着ロビーなどがある。

現在、ビル内で誰でも利用可の店舗はコンビニ含め4店舗。



※乗客に限らず誰でも食事や買い物を楽しめる隣接する商業ゾーンを順次、前倒しでオープン予定

【新旅客ビル3F】



1Fロビーからエスカレーターで3F(天井は全面(小国杉の)木張りですエレガント)へ。振り向けば、国内線出発ゲート(国際線は反対側の右奥)が見え、チェックインして「さあ、楽しい旅へ出発!」(※お見送り等は4F屋上展望デッキへ)



(ガラス越しに)木材を張り詰めた天井に、イルミネーションがひととき明るくきらめく3Fゲートラウンジの様子が垣間見える(国内線/国際線搭乗者が保安検査後に、食事や買い物が楽しめる26店舗(2023年6月現在)がオープンしている)